

# Keiba Global Front Line

## 競馬グローバル・フロントライン

競馬の最前線で活躍する馬や人を紹介致します



### 合田 直弘

今月のこのコラムは、スイスレイクとい  
う今年20歳になる牝馬を紹介する。既に  
繁殖生活から引退し、悠々自適の余生  
を送っている同馬が「海外競馬の最前線  
に立つ人馬を紹介する」このコラムで、な  
ぜ主役たりえるのか。

7月13日、英國南部のウイルトシャー  
州にあるソールズベリーで行われた開催  
の、第3競走に組まれた未勝利戦(芝6  
F2133m)の結果が、翌日のレインシングボ  
ストで大きな見出しどとなつた。年間の開  
催日程の中にG1もG2もなく、3歳以  
上のG3ソヴリンS(芝8F、総賞金7万  
ポンド=約980万円)が組まれた8月  
開催と、2歳牝馬のG3ディックプールS  
(芝6F、総賞金4万5千ポンド=約63  
0万円)が組まれた9月開催が呼び物と  
なつてゐるのがソールズベリーだ。

普通の開催だった13日の第3競走は  
「クラス5」という下級条件で、1着賞金は  
4528ドル(約63万円)。勝ったのは、こ  
れが4歳7月にして初勝利だったガリュー  
ン(驕4、父インヴィンシブルスピリット)  
だった。

そんなレースがなぜ注目されたのかと  
言えば、ガリューの勝利によつて同馬の  
母スイスレイクが、競走年齢に達した11  
頭の産駒全てが勝ち馬になるという快挙  
を達成したのだ。

そして、ガリューはスイスレイクの10  
番仔である。1歳年下の半妹となる11番  
仔のスイスエア(牝3、父オアシスドリー  
ム)は、同馬が2歳だった昨年8月にリン  
グフィールドのノーヴィス(芝4F217  
Y)を制し、早々に勝ち馬となつていた。す  
なわち、それ以降11か月余りの間、スイス  
レイク産駒の中でただ1頭、勝ちあぐね  
ていたのがガリューで、しかも同馬が4  
歳の夏を迎えていたゆえ、スイスレイクの  
「パーエクト達成」に黄色信号が灯つて  
いたのだ。だからこそ、ガリューの勝利  
が翌日の競馬メディアに大きく報じられ  
ることになつたのである。

スイスレイクの母ブルーアイリスは英  
国産馬で、M・ジャーヴィス厩舎所属馬と  
して5勝、LRラウスS(芝5F)2着など  
の成績を残した後、繁殖入り。インデイア  
ンリッジを受胎した状態で北米に渡つた  
同馬が、99年に産んだ初仔がスイスレイ  
クだ。キンランンド7月1歳市場に上場  
され、32万ドルで英国人馬主に購買さ  
れ、G・バトラー厩舎からデビュー。ニー  
バリのLRセントヒューズS(芝5F34  
y)、バースのLRランズダウンS(芝5F  
10y)という2つの準重賞を含む3勝を挙  
げたから、優秀な競走馬だった。

現役を退いたスイスレイクは、母同様  
に渡米。ミスタークリーリーを交配され  
て、2番仔のスイスディーヴア  
(父ピヴァタル)は、ドーヴィルのG3モー  
トリ賞(芝1200m)、ロンシャンのG3  
ブティックエール賞(芝1000m)の2重  
賞を制覇。更に5番仔のスイススピリット  
(父インヴィンシブルスピリット)は、ニュー  
バリーのG3ワールドトロフィー(芝5F  
34Y)に優勝と、2頭が重賞勝ち馬となつ  
てゐる。

また4番仔のスイスドリーム(父オアシ  
スドリー)は、現役時代に3つの準重賞  
を制した後、母としてニーバリーのG3  
ハックウッドS(芝6F)勝ち馬ヤフタを送  
り出しているから、スイスレイクの牝系は  
広がりを見せ始めていると言えよう。  
スイスレイクは16年の種付けで不受  
胎となつた後、17年にキングマンを交配さ  
れ、18年に最後の産駒となる牡馬を出産  
している。既にスイスエースという競走名  
が与えられている、来年デビュー予定の同  
馬が、果たして勝ち馬になれるかどうか  
が、次の大きな焦点となつてゐる。

このうち、2番仔のスイスディーヴア  
(父ピヴァタル)は、ドーヴィルのG3モー  
トリ賞(芝1200m)、ロンシャンのG3  
ブティックエール賞(芝1000m)の2重  
賞を制覇。更に5番仔のスイススピリット  
(父インヴィンシブルスピリット)は、ニュー  
バリーのG3ワールドトロフィー(芝5F  
34Y)に優勝と、2頭が重賞勝ち馬となつ  
てゐる。

受胎した後に英國に戻り、トレヴァーーと  
リビーのハリス夫妻がニユーマーケットに  
持つロードシップスタッフで05年に初仔を  
出産。以降、10年に父ホーリーローマンエ  
ンペラーの仔を流産した以外は毎年産  
駒を生み、現段階で11頭の産駒が競走  
年齢に達しているというわけだ。